

030

小型・軽量かつ用途に合わせて 連結・分離できる蓄電池

取組主体

まちのちから合同会社

従業員数

6人

想定災害

全般

実施地域

宮城県

- ・身近なところに設置でき、1～8台を連結・分離させながら用途にあわせた容量で利用できる蓄電池を開発、販売。災害時における分散避難の際等には、蓄電したのちに分離し、各避難所に運び使用することができる。

1 取組の特徴（はじめたきっかけ、狙い、効果、工夫した点、苦労した点）

災害時に用途や規模に合わせて電気を供給できる蓄電池を開発

- ・まちのちから合同会社は、小型・軽量かつ用途に合わせて構成を変更できる新型リチウムイオン蓄電池モジュール「ENSUS II（エネサス2）」の販売を開始した。
- ・東日本大震災を機に立ち上がった JASFA（一般社団法人 持続可能で安心安全な社会を目指す新エネルギー活用推進協議会）の会員出資によって設立された同社は、「持続可能社会への貢献」「安心安全な社会への貢献」「地球環境保全への貢献」の3つの貢献理念のもと、様々な製品・サービスを展開している。
- ・同製品への充電は自在に選択できるため、通常商用電源はもちろん、太陽光パネルからの蓄電ができ、災害等により電源喪失した際に役立つ。
- ・さらに同製品には、内部の電圧や電流、温度など充電状態を測定し、過充電や過放電を防止する BMS（バッテリーマネジメントシステム）が1台ごとに搭載されており、蓄電池内部の電圧、電流、温度を常時監視し、蓄電システム全体の充電バランスを最適に保つことができる。BMS 同士の連携制御により、接続されているすべての蓄電池が均等充電・均等放電されるため、エネルギーロスの少ない効率的な蓄電システムを構築することができる。また、用途に応じて同製品を8台までつなげたり外したりして使用することができるため、新型コロナウイルス感染症対策の一環として災害時に分散避難が必要になった場合でも、一か所で充電したのちに、ひとつずつばらして各避難所に持ち運びをすることができる。避難所の規模や利用用途に応じて、無駄なく使用することも可能となる。
- ・同社は、全国に展開する事業協同組合とともに、購入希望者に対して、用途や利用規模にあわせた構成の提案を行っている。



蓄電池「ENSUS II」

2 取組の平時における利活用の状況や防災・減災以外の効果

- ・同製品は、平時の電源としての活用はもちろん、夜間の工事現場等でも活躍している。一般の発電機は騒音が問題になるほか重量もあるため運搬も大変だが、同製品は無音であり、必要な電力分の台数を運ぶだけでよいため利便性が良いと好評である。

3 現状の課題・今後の展開等

- ・従来、災害等による停電時に非常用電源を配備する際は、自衛隊等の公的機関に頼らなければいけないことが多かったが、同社は、同製品を普及させることで、いざというときでも、地域の人々で電気の供給に対応できるようにしていきたい考えである。

担当者の声

- ・災害時の停電に備え、大切なデータや設備を守るための仕組みのひとつとして、本製品をぜひ用途に合わせて役立てていただけると幸いです。

問合せ先

まちのちから合同会社 法人番号：8370003001851
TEL：022-395-8750 FAX：022-249-7253
E-Mail：sales@machinochikara.jp

サイト URL



動画

